



あいかわ 議会だより

第 141 号

責任者 議会議長 鳥羽 清
年4回発行・本号18ページ

議会改革推進特別委員会を設置

P4

マーケティング室の設置など10件の条例議案を可決

P3

新年度各会計予算 可決

P2

「五月人形と吊るし飾り」

古民家山十郎で5月26日（月）まで展示を行っています。

※町議会では議会だよりの表紙写真を募集しています。応募要領は17ページをご覧ください。

平成26年5月15日 <3月第1回定例会>

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

平成26年第1回愛川町議会「3月定例会」は、3月3日から会期26日間（本会議開催日6日間）にわたり開催されました。

この定例会では、条例の制定及び一部改正をはじめ、新年度予算や補正予算、また、町道の廃止・認定など、合計で27件の町長提出議案を審議し、全議案を可決しました。

また、議員提出議案1件を可決するとともに、陳情3件の審議を行いました。

本号ではこれら「3月定例会」の内容を中心にお知らせします。

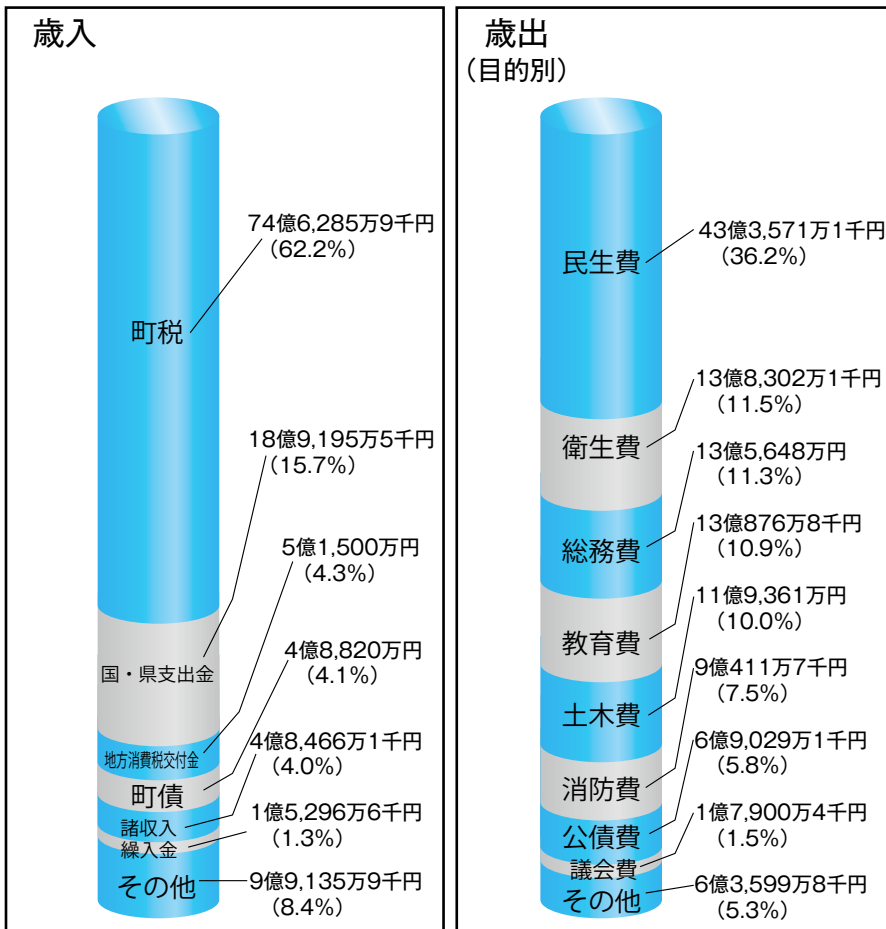
総額 227億900万円 平成26年度当初予算可決

- 一般会計予算 (賛成全員)
 - 国民健康保険特別会計 予算
 - 後期高齢者医療特別会計 予算 (以上、賛成13人、反対2人)
 - 介護保険特別会計予算
 - 下水道事業特別会計予算
 - 水道事業会計予算 (以上、賛成全員)
- ※議長は表決には加わりません。

《各会計予算額》

会計名	予算額	構成比	前年度比	
一般会計	119億8,700万円	52.8%	△0.2%	
特別会計	国民健康保険	57億1,900万円	25.2%	△0.6%
	後期高齢者医療	3億4,700万円	1.5%	9.1%
	介護保険	23億8,700万円	10.5%	4.9%
	下水道事業	12億7,300万円	5.6%	3.7%
	小計	97億2,600万円	42.8%	1.6%
	企業会計	水道事業	9億9,600万円	4.4%
合計	227億900万円	100.0%	0.7%	

新年度一般会計予算の構成



平成26年 第1回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
3	3	月	本会議	町長施政方針演説・提出議案の説明
	4	火	本会議	一般質問 (6人)
	5	水	本会議	一般質問 (6人)
	10	月	本会議	補正予算・事件関係議案の個人総括質疑・討論・採決
	11	火	本会議	施政方針・条例・新年度予算に対する会派代表質問、委員会分割付託の決定
	12	水	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託案件の補足説明・現地調査
	14	金	総務建設常任委員会	付託案件の現地調査
	17	月	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	18	火	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	19	水	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	24	月	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	27	木	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決、議員提出議案の説明・質疑・討論・採決

条例制定・改正

◎愛川町附属機関の設置に関する条例の制定

(賛成全員)

現在、町が設置している30の私的諮問機関のうち、「地方自治法」及び「地方公営企業法」の規定に基づき附属機関として、新たに17の審議会等を位置付けるとともに、既存の3つの附属機関を規定する包括的な条例の制定を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町職員定数条例の一部改正

(賛成11人、反対4人)

本年4月1日の職員実数を踏まえ、職員定数の見直しを行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町民生委員推薦会条例の制定

(賛成全員)

従前は規則で規定していた民生委員推薦会の運営等と内容とする条例の制定を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町設置条例の一部改正

(賛成11人、反対4人)

「愛川ブランドの確立

を推進するため、地域経済の活性化や町のイメージアップ戦略等を総合的に企画・立案する「マーケティング室」を新たに設置する一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

署長の資格を定める条例の制定

(賛成全員)

「消防組織法」が改正されたことに伴い、消防長及び消防署長の資格について、条例で規定することとなったことから、新たな条例の制定を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町職員定数条例の一部改正

(賛成11人、反対4人)

本年4月1日の職員実数を踏まえ、職員定数の見直しを行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町手数料条例の一部改正

(賛成13人、反対2人)

「消防法」の規定に基づく事務手数料のうち、危険物の製造所等の設置許可の申請等に対する審査手数料が引き上げられたことから、条例に規定する手数料を同額に引き上げる一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町立福祉センター条例の一部改正

(賛成全員)

「第3次地域主権改革一括法」の制定により、「社会教育法」が改正されたことに伴い、従来は

について、児童の障害や発達上の様々な課題に幅広く対応できるよう、相談や訪問の機能を加えた施設に変更する一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の一部改正

(賛成全員)

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の一部改正に伴い、用語の変更や条項の移動が行われたことから、影響を受ける3条例について、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町社会教育委員設置条例の一部改正

法で定めていた社会教育委員の委嘱基準について、条例で規定することとされたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

(賛成全員)

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行に伴い、非常勤消防団員の処遇改善を図るため、「消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令」の一部が改正され、退職報償金の額が引き上げられることから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は公布の日

◎愛川町社会教育委員設置条例の一部改正

(賛成全員)

「第3次地域主権改革一括法」の制定により、「社会教育法」が改正されたことに伴い、従来は

法で定めていた社会教育委員の委嘱基準について、条例で規定することとされたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町立福祉センター条例の一部改正

(賛成全員)

「第3次地域主権改革一括法」の制定により、「社会教育法」が改正されたことに伴い、従来は

について、児童の障害や発達上の様々な課題に幅広く対応できるよう、相談や訪問の機能を加えた施設に変更する一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

◎愛川町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の一部改正

(賛成全員)

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の一部が改正され、退職報償金の額が引き上げられることから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

施行期日は平成26年4月1日

補正予算

今回の補正は、各種事業の執行額が確定したことに伴い、歳入歳出のそれぞれに1億6千916万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を122億9千828万3千円としたものです。

◎平成25年度愛川町一般会計補正予算(第5号)

◎平成25年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◎平成25年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

◎平成25年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)

◎平成25年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

◎平成25年度愛川町水道事業会計補正予算(第1号)

(以上、賛成全員)

号

◎平成25年度愛川町一般会計補正予算(第4号)

(賛成全員)



2月に降った大雪後の役場庁舎裏

専決処分の承認

◎平成25年度愛川町一般会計補正予算(第3号)

(賛成全員)

2月の記録的な大雪に伴う、町道の除雪経費として、歳入歳出のそれぞれに3千500万円を追加し、歳入歳出予算の総

額を12億2千911万6千円とした専決処分を承認したものです。

議員提出議案

◎愛川町議会委員会条例の一部改正

(賛成全員)

部設置条例の一部改正により、マーケティング

室が新たに設置されることから、「総務建設常任委員会の所管事項にマーケティング室の所管に属する事項」を新たに規定する一部改正条例を可決したものです。
施行期日は平成26年4月1日

事件議案

◎町道の認定・廃止

(賛成全員)

今回は、2路線の廃止3路線の認定を可決したものです。

人事

◎人権擁護委員の推薦に係る意見

人権擁護委員の任期が、平成26年6月30日をもって満了するため、引き続き、次の方々を適任と認めました。

愛川町半原在住

木藤 美智子 氏

愛川町中津在住

原 惠美子 氏

3月定例会での陳情審査結果

件名	結論	陳情者	所管委員会
要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する陳情書	趣旨了承	川崎市幸区南幸町1-3 グレース川崎203 公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部代表 杉山 孝博	教育民生 常任委員会
要支援者に対する介護予防給付継続と利用者負担増中止を求める陳情書	趣旨了承	愛川町中津75-2 愛川年金者の会 代表者 勝又 莊蔵	教育民生 常任委員会
国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情書	趣旨了承	愛川町中津75-2 愛川年金者の会 代表者 勝又 莊蔵	教育民生 常任委員会

請願・陳情のゆくえ

議会改革推進 特別委員会を設置

町議会では、議会基本条例に規定する議会の責務を果たし、真に町民に開かれた議会を実現するため、議会のあり方や運営方法などについて調査する議会改革推進特別委員会を3月27日の定例会最終日に設置しました。

4月2日(水)に開催した第1回目の会議では、正副委員長の互選を行い、委員長に小林敬子議員、副委員長に木下真樹子議員が選任されました。

4月30日(水)に開催した第2回目の会議では、本特別委員会で調査を行う議会改革項目の選定に関する、5会派から提出された議会改革項目について、協議を行いました。

本特別委員会の調査の状況は、議会たよりに随時掲載していきます。

各常任委員会での質疑要旨

総務建設常任委員会

問 シティセールスパンフレットについて

答 このパンフレットは、町外に向けて愛川町を紹介するために、町勢要覧をコンパクトにまとめた冊子として作成するもので、A4サイズ12ページ又は16ページのカラー印刷で、部数は3千部を予定し、トップセールスの際などに広く活用するものです。

問 内容は、本町の自然や産業、観光情報などの地域資源を中心として、様々な魅力を町外に発信し、シティセールスに活用するため、新しく設置されるマーケティング室と連携を図り、内容を検討して作成します。

問 中津川リバーフレッシュ構想の見直しについて

答 平成元年に策定した中津川リバーフレッシュ

ユ構想は、策定後25年が経過し、宮ヶ瀬ダムの影響による中津川の河道形態や水量、河川の自然環境に対する考え方などが、構想策定当時とは変化しています。

したがって、現在、神奈川県が策定を進めている河川整備計画に、現行の構想を反映することが難しい状況となっていることから、河川の現状や時代に即した構想とするため、見直し業務を委託するものです。

業務内容としては、まず、現在の中津川河川敷の状況や利用形態などについて調査を実施し、現況の把握を行います。

次に、調査結果に基づき、本構想における問題点の抽出・整理を行った上で、見直しに係る基本的な方針

を定め、神奈川県等が策定した相模川水系河川環境管理基本計画に定められている「施設利用ゾーン」や「自然利用ゾーン」などの河川空間の利用区域ごとに、有効的な河川敷の利・活用や各種の施設整備などの可能性について検討を行っていきます。

また、現在、神奈川県で策定を進めている河川整備計画との整合性も図りながら見直しを進め、最終的に「見直し構想書」として取りまとめを行うものです。

教育民生常任委員会

問 私立幼稚園長時間預かり保育支援事業費補助金の詳細について

答 本事業は、私立幼稚園の人材・施設を活用して、現在、幼稚園で実施している「預かり保育」を拡充することにより、待機児童の解消を図るもので、共働き家庭の保育に欠ける子どもについて、保育所と同様に11時間開所等を行う幼稚園に対し、運営費の補助を行うものです。

本事業を実施する幼稚園の要件としては、「5年以内に『認定こども園』への移行の意思があること」、「1日11時間以上の長時間保育を実施すること」、「土曜日・夏休み等の長期休業日も原則として保育を実施すること」、「保育所の基準に準じた職員配置を行うこと」の4項目の要件を満たすことが必要となります。

なお、町内の幼稚園で



高峰小学校外壁塗装工事を調査

は、2園が本事業の実施を新年度から予定しています。

問 いじめ、不登校の現状と解消の取組について

答 いじめの現状については、平成24年度の認知件数は小学校11件、中学校24件の合計35件で、平成23年度は、小学校2件、中学校10件の合計12件となっており、件数では増加しています。

しかし、これは各報道において、いじめ問題が表面化され、早期発見の取り組みが進んだことによるものと考えています。不登校については、平成24年度は小学校12名、

中学校49名の合計61名で、平成23年度は小学校11名、中学校40名の合計51名となっております。人数は増加しています。

それぞれの課題の解消に向けた取り組みについては、いじめ問題については、各学校において、あらゆる機会を通じて、あらゆる機会を通じて指導を徹底し、定期的なアンケート調査を行うなど、きめ細かな実態把握に努めるとともに、課題が大きくなる前に早期対応しており、不登校に対しては、学習面や心理面など個別の課題へ対応することに、登校支援を進めています。



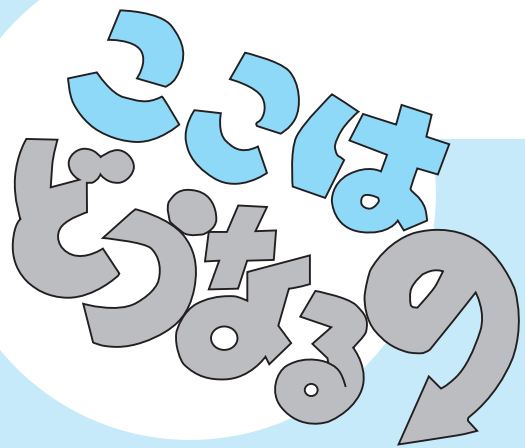
火災のあった町営桜台住宅を調査

会派 議決一覧表 (平成26年第1回定例会)

※議長は表決には加わりません。 各会派賛否 ○…賛成、●…反対

議案番号	議案の件名	愛政 (4人) 熊坂弘久議員 鳥羽議員 小倉議員 佐藤茂議員	あいかわ (4人) 渡辺議員 鈴木議員 馬場議員 篠崎議員	みらい絆 (3人) 木下議員 小島議員 熊坂崇徳議員	共産 (2人) 小林議員 井上議員	公明 (2人) 井出議員 佐藤りえ議員	玉利議員	議決結果
議員提出 第1号	愛川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第1号	愛川町附属機関の設置に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第2号	愛川町民生委員推薦会条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第3号	愛川町部設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	●	○	○	●	可決
町長提出 第4号	愛川町職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	●	○	○	●	可決
修正動議	町長提出議案第4号愛川町職員定数条例の一部を改正する条例案に対する修正案	●	●	○	●	●	○	否決
町長提出 第5号	愛川町消防長及び消防署長の資格を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第6号	愛川町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第7号	愛川町立福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第8号	愛川町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第9号	愛川町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第10号	愛川町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第11号	平成25年度愛川町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第12号	平成25年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第13号	平成25年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第14号	平成25年度愛川町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第15号	平成25年度愛川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第16号	平成25年度愛川町水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第17号	平成26年度愛川町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第18号	平成26年度愛川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第19号	平成26年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	●	○	○	可決
町長提出 第20号	平成26年度愛川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第21号	平成26年度愛川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第22号	平成26年度愛川町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第23号	専決処分の承認について (平成25年度愛川町一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	承認
町長提出 第24号	町道路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第25号	町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第26号	平成25年度愛川町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第27号	平成25年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	可決
陳情 第1号	要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する陳情書	○	○	○	●	○	○	趣旨了承
陳情 第2号	要支援者に対する介護予防給付継続と利用者負担増中止を求める陳情書	○	○	○	●	○	○	趣旨了承
陳情 第3号	国民健康保険への国庫負担増額を求める陳情書	○	○	○	●	○	○	趣旨了承

※陳情は、委員長報告「趣旨了承」に対する賛否です。



一般質問

踏まえ検討
繊維産業会の意向
町長 繊維会館を解体し、拠点として新たに活用することについては、さらなる町の活性化や地域振興などを図るひとつの手段として考えられることから、繊維産業会の意向なども勘案しながら総合的に検討していきたいと考えています。

繊維会館は解体 観光振興の拠点に



井上 博明議員

問 繊維会館は解体し、観光振興の拠点として再利用すべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

消防団OBの活用・運用

問 平成19年12月議会で提案しましたが、消防団OBの協力を得ての活用・運用について町長の考えを伺います。

OBで支援隊発足 後方支援に協力

町長 本年4月1日から愛川町消防団支援隊を発足させる準備を進めているところです。

この支援隊設立の目的や活動内容としては、知識や技能、経験をお持ちの消防団OBを活用し、消防団員の確保に関する支援や大規模災害発生時における後方支援などに協力をいただくものです。他の質問事項①介護保険制度改正への町の対応



要望多い温泉施設 ダム交付金を活用



小倉 英嗣議員

問 本町には、昔から豊富な温泉資源が数多くあります。ダム交付金2億5千万円を使って住民要望の多い温泉施設を造る考えがあるか伺います。

費用対効果に問題 施設建設は困難

町長 温泉施設の建設には多額の費用がかかるとともに、費用対効果の問題もあることから、町が主体となつて温泉施設を建設することは難しいと考えています。



試験的に設置されたLED防犯灯（中津地内）

「LED防犯灯」導入の進捗状況

問 地球温暖化防止対策に有効な省エネで長寿命のLED防犯灯の導入を以前から強く要請してきましたが、進捗状況を伺います。

価格の動向注視 今後、調査研究

町長 平成21年度以降は、LED防犯灯より安価な

32ワット型インバーター式防犯灯に順次切り替えられています。LED防犯灯の導入については、今後、価格の動向を注視するとともに、町財政状況等を勘案しながら、引き続き調査研究をしていきたいと考えています。他の質問事項①有害鳥獣対策に有効な電気柵



公共施設の維持管理計画

渡辺 基議員

問 公共施設全体の最適化の観点から、全庁的な仕組みを構築するための維持管理計画作成の考えについて伺います。

国の正式な指針を受け策定について調査研究

総務部長 今後、国からの正式な指針や具体的な計画の策定方法などが示された場合には、町施設の現状把握や長期的な視点での施設のあり方などを踏まえた「公共施設等総合管理計画」の策定について、調査研究していきたいと考えています。

保育園の待機児童対策

問 待機児童解消が本町でも大きな課題となつていますが、さらなる対策について伺います。

幼稚園、長時間預り保育事業を実施

民生部長 幼稚園の人材・施設を活用した預り保育の拡充により、待機児童

の解消を図ります。

幼稚園の預り保育は、

共働き家庭の子どもを受け入れているので、保育所と同様に11時間開所等を行う幼稚園に対し、運営費の補助を行うもので、新年度の新規事業です。

他の質問事項①買い物弱者対策



女性消防団員の加入現状と課題

小島 総一郎議員

問 消防団員の確保は、全国的な課題となつていますが、女性消防団員の加入に関し、現状と課題について伺います。

現在は未加入 実動的で導入困難

町長 現在、本町の消防団には女性消防団員は加入していません。本町の消防団活動は消火活動や救助活動を主体とする実動的な性格が強いことから、女性消防団員の導入は難しいものがありますが、引き続き研究していきたいと考えています。

特別工業地区の取り扱い

愛川町都市マスタープラン
(愛川町の都市計画に関する基本的方針)



平成20年3月
愛川町

問 都市マスタープランでは、新たな産業の受け皿が必要不可欠とされましたが整備は進んでいません。そこで、特別工業地区の取り扱いと今後の対応について伺います。

特工への企業進出 条例の特例を運用

町長 準工業地域の半原田地域については、繊維産業の保護、育成を図るため、さらに厳しい制限の特別工業地区に指定した経緯があります。

この指定を解除した場合、住居系の用途地域とするよう県から指導されており、工場の進出が難しくなるなど、多くの課題が生じるものです。

一方、愛川都市計画特別工業地区建築条例第3条ただし書の規定では、町長が公益上やむを得ないと認めた場合は、繊維関連以外の業種も進出が出来るよう定めており、新規企業の進出に対しては、このただし書の慎重な運用を図っていきます。他の質問事項なし

町長 生産性を高める農業には、基盤整備が必要だと認識しています。また、「人・農地プラン」では、更新作業を進めると同時に、新たなプランの作成を見極める必要があります。今後は、ブランド化と地産地消を進める中で、



峰の原の農地

基盤整備必要と認識 生産環境を整える

問 農業従事者が高齢化し、遊休農地が増加していますが、町農業の現状認識と課題について伺います。

町農業の現状と課題



玉利 優議員

安全で効率的かつ消費者ニーズに合う生産環境を整える必要があると考えられています。

「子宮頸がんワクチン」 接種問題の対応は

問 子宮頸がんワクチンの感染予防効果は証明されておらず、未成年者への接種は無意味です。反面、副反応の被害者は大勢いますが、対策は手つかずのままです。実態調査の実施など、接種問題への対応について伺います。

町長 子宮頸がんワクチンについては、今後の国の動きを注視していきたいと考えています。

国の動向を注視 正しい知識の周知

私としては、子宮頸がんについて正しい知識を皆様にお伝えしていくことが大事なことで、まずは、より多くの皆様に検診をしていただくよう取り組んでいきたいと考えています。他の質問事項なし

移住就農者用 空き家バンク制度



小林 敬子議員

問 昨年3月議会で移住就農者用の空き家バンク制度の創設を提案しましたが、その後の取り組みについて伺います。

空き家状況 台帳構築へ研究

町長 新規就農者への住まいの斡旋で、実際に定住用の住まいが見つかった例もあります。今後も新規就農者の転入が見込まれるため、遊休農地と空き家状況のデータを一元化した台帳システムの構築に向けて研究したいと考えています。

「空き家対策」 単独条例設置の取り組み



問 昨年5月に実施した議会意見交換会での空き家対策を求める声にこたえて、議会でも単独条例設置の要望を提出していますが、町の取り組みについて伺います。

町長 不適正な管理と認められる空き家の改善が図られない要因として、所有者の経済的な理由や相続問題など、個々の込

実効性の担保肝要 国の動きも注視

み入った事情によるケースが多く、また、所有者の承諾がなければ空き家の敷地内に立入り出来ないなどの課題もあるので、単独条例の制定にあたっては、実効性をいかに担保できるかが肝要であると考えています。国における空き家対策特別措置法案の整備に向けた動きも注視しながら、引き続き空き家の適正管理の指導等に取り組みしていきたいと考えています。他の質問事項なし



高田橋交差点 早急な改善を望む

篠崎 直紀議員

問

高田橋交差点周辺の渋滞は、交通量、周辺道路への影響など、早急な改善が求められる場所ですが、県道511号の改良について伺います。

改良は不可欠 整備促進を要望

建設部長 町道へ進入する車両を減少させるためには、県道54号のみならず、県道511号の改良が不可欠であることから、引き続き県に対して改良整備の促進を要望していきます。

役場庁舎周辺の未来像

問

役場庁舎周辺は、町の中心部として住民生活の利便性の向上や、有事の際の防災拠点として庁舎の建て替えを含めた機能強化を進める必要があります。そこで、町長が考える役場庁舎周辺の未来像について伺います。

財政状況を勘案し 総合的に研究

町長 役場庁舎周辺の整備計画については、既存の公共施設と新たに整備された施設との関連や利用者の利便性、財政状況

などを総合的に勘案し、研究していきます。

この未来像としては、町民の皆さんをはじめとして、多くの方々に多様な目的で来ていただくことや、賑わいや憩い、くつろぎの空間を形成していくことにより、町の中心にふさわしい地区として都市的魅力が高まることで、企業立地の誘引など、その波及効果を生み出すことが出来ると考えています。

他の質問事項①愛川ブランド認定制度と(仮称)マーケットイング室設置



高田橋交差点
(県道511号から)

愛川ブランド 特産品の考え

木下 眞樹子議員

問

愛川ブランドの特産品の具体的な考えについて伺います。

数多く潜在 認定制度を構築

町長 現在、町独自の特産品の認定制度はありませんが、本町には認定に値するものが数多く潜在しています。

そこで、新たに設置するマーケットイング室を中心に、幅広く新たな特産品等の掘り起こしに努め、愛川ブランド認定制度の構築を進めたいと考えています。



特産品である繊維製品

住み続けたいまち

問

これからのまちづくりは、心の支援が大切です。このまちに住み続けたい、近隣から移り住みたくなるようなまちづくりを期待しますが、住んで良かった・住み続けたいまちの具体的な考えについて伺います。

具体的に目に見えるものではなく、言い換えれば、住民皆さんの暮らし満足度が高い町であると考えています。

そこで、公約に掲げた様々な政策を着実に実現することにより、子どもから高齢者まで、住みよさを実感していただける明るく元気な地域社会の実現に努めていきたいと考えています。

満足度の高いまち 政策を着実に実現

町長 住んで良かった・住み続けたいまちとは、

他の質問事項①道の駅・川の駅②公民館活動

町長 従来から観光協会の会長は、歴代町長が努めていますが、圏央道の開通やリニア新幹線駅の整備など、本町を取り巻く環境の変化や観光客のニーズの多様化に対応するため、地域の特色を生かした新たな取り組みも必要と考えています。

ニーズの多様化 新たな取り組み必要

問 観光協会の一層の活性化が必要と思われませんが、会長を民間から登用する考えがあるか伺います。

観光協会会長 民間登用の考え



佐藤 茂議員



2月大雪時の県道65号(角田地内)

町長 まずは、消防車などの緊急車両の通行を確保するため、幹線道路の除雪を優先的に行う旨の周知をしています。また、町内全域の除雪作業を実施するため、町建設業協会と除雪対応に

他の質問事項①文化・教育応援のあいかわ

パトロールを実施 幹線道路が優先

問 町道の除雪の対応と山林の枝、竹の折れ曲がりなどの対応について伺います。

町道除雪の対応策

関する契約を締結しており、それぞれの所在地周辺の除雪を行っていただいています。加えて、各行政区と連携をとりながら、地域の皆様にも除雪に協力をいただいているところです。

なお、降雪時は、随時道路パトロールを実施し、雪の重みで樹木の枝や竹などが町道にはみ出した場合には、撤去を行っています。

町長 新年度は、建築設備等の調査や電気、ガスなどのエネルギー方式別コストの検討など、設置の基礎調査に必要な予算を計上しています。今後は、基礎調査結果をもとに実施設計を行い、財政状況を見極めながら順次、エアコン設置を進めていきます。

基礎調査を実施 必要な予算を計上

問 小中学校へのエアコンの早期設置の考えと今後の見通しについて伺います。

小中学校のエアコン 設置の見通し



井出 一己議員

町長 処遇改善について
**退職報償金引上げ
消防団支援隊を発足**

他の質問事項①交通インフラ②2月の大雪対策

問 国においては、消防団員支援法が昨年成立したことにより、団員の処遇改善と装備の充実が図られることになりましたが、本町団員の処遇改善の考えと団員の確保対策について伺います。

消防団員確保と処遇改善

は、本年4月以降の退団者の退職報償金を引き上げる一部改正条例を提案したところです。

団員の確保対策としては、消防団OBによる団員確保の支援や大規模災害時の後方支援を行う「愛川町消防団支援隊」を4月から発足します。



消防団辞令交付式



積雪による被害 災害時の情報発信

熊坂 崇徳議員

問

2月に2週連続で大雪が降り、本町も多くの積雪に見舞われ、大きな被害が出ました。そこで、災害時の情報発信の手法について伺います。

無線設備等の活用 必要な情報を発信

町長 防災行政無線などの無線設備等を通信手段の主力として活用するほか、町ホームページや防災情報メールなどにより、必要な情報を町民の皆さんにお知らせすることとされています。



愛川町防災行政
情報メール
QRコード



愛川町公式
ツイッター
QRコード

公約の職員意識改革

問

町長は、職員一人ひとりの意識改革を進め、行政運営から行政経営へ意識転換させると公約に掲げました。そこで、職員の資質向上の手法について伺います。

計画的な人材育成 職員研修を実施

町長 職員が持てる能力を最大限に発揮できるように計画的な人材育成や職場の活性化を図っていく

ことを目的に、平成18年に策定した「愛川町人材育成基本方針」に基づき、毎年度、職員研修計画を定め、総合的かつ長期的な視点から職員研修を実施しています。

職員個々の資質向上はもちろんのこと、公務に関わることへの喜びや誇り、やりがいなどを喚起し、時代の要請に的確に対応し、住民の信頼と期待に応え得る人材育成を目指しています。

他の質問事項なし



外国籍住民 防災リーダーの養成

佐藤 りえ議員

問

災害時支援の担い手として、行政とも連携が出来る外国籍住民防災リーダーの養成が必要だと思いますが、町長の考えを伺います。

防災意識を習得 体制づくりに努力

町長 将来的には、各種訓練に参加された外国籍住民の方々の中から、防災の意識を十分に習得された方を防災リーダーとして養成できるように体制づくりに努めていきたくと考えています。



あなたの支援が必要です。
ヘルプカード

下記に連絡してください。

- 私の名前
- (ア) 連絡先の電話
連絡先名(会社・機関等の場合)
呼んでほしい人の名前
 - (イ) 連絡先の電話
連絡先名(会社・機関等の場合)
呼んでほしい人の名前

ヘルプカードの例

ヘルプカードによる支援

問

周囲の配慮や手助けをお願いしやすくするヘルプカードは、支援を必要とする人と支援を行う人を適切に結びつけることを目的としています。

何かあった時、すぐに弱者へ支援の手を差し伸べられることが重要だと思いますが、町長の考えを伺います。

共同普及を推進 まずは情報交換

町長 町独自にヘルプカードの作成や周知・啓発に取り組んだとしても、町外での普及が進まなければ適切な支援を受けることは出来ないことから、幅広い地域で共同して普及を推進することが望ましいと考えています。

このヘルプカードの普及については、まずは、県や近隣市町村と情報交換を行っていきたくと考えているところです。

他の質問事項①図書館構想づくり

問 質 代 表 派 会

愛政クラブ

熊坂 弘久 議員

熊坂弘久議員 暮らし満足度の把握について

町長 新年度に第5次総合計画後期基本計画の策定に着手しますが、町民皆さんの暮らし満足度の把握は、計画を策定する上で欠かすことのできない重要な要素の一つです。

そこで、前期基本計画の中間年度にあたる平成26年度と最終年度にあたる平成28年度の2回にわたり、住民満足度調査を実施し、町民の暮らし満足度の把握に努めていきたいと考えています。

熊坂弘久議員 町管理職への女性登用について

町長 管理職全体に占める女性職員の割合は、管理職155名のうち34名21・9%で、10年前の割合が14・7%、5年前は19・3%でしたので、女性管理職の割合は着実に増加している状況です。

町職員の管理職への登用に当たっては、各階層における一定の在職年数等の要件を設けているわけですが、現実として、女性職員の中には、家庭の事情や職責の重さへの不安などを理由に、管理職への昇格を辞退するケースも見られるのが現状です。

しかしながら、女性職員にも、管理職として働くことの魅力を感じられるよう、昇任意欲の醸成に努めることにより、女性の管理職として、その能力を十分に発揮する職員が増えることを期待し



ているところです。

他の主な質問事項①中津川リバーリフレッシュ構想の見直し②小学校給食③人・農地プラン

あいかわクラブ

渡辺 基 議員

渡辺議員 行政経営の具体的な説明について

町長 私の公約の一つである新しい愛川のまちづくりを推進するために取り組むべきことは、民間の経営感覚を取り入れた新たな組織の構築と人材の育成によって、行政運営から行政経営への転換を図ることであると考えています。

まず、新たな組織の構築としては、マーケティング室を設置し、地域経済の活性化や町の知名度イメージアップ戦略などを、総合的に企画、立案していきます。

次に、人材の育成については、コスト感覚に富んだ人材の育成を目的として、職員が民間のすぐれた経営理念や経営手法

④国保税の収納率向上対策⑤安全で良質な水の安定供給⑥町税収入⑦義務的経費

などについて学び、民間の視点や住民の目線に立った物事の考え方や事務事業の進め方に関するスキルを習得するため、行政経営セミナーを開催するとともに、町長と若手職員とのランチミーティングを実施し、若手職員の意識改革を促進していきます。

今後は、私自身がトップセールスを行うことにより、戦略的に町の活性化を図っていくという民間の経営感覚を持って、町政運営にあたっていきたくと考えています。

渡辺議員 安全でおいしい水の供給体制について

町長 本町の町営水道は、7箇所の水源があり、5箇所の浄水場から1日約2万トンの水を供給する



戸倉浄水場を調査

能力があります。最大の浄水能力である戸倉浄水場では、平成24年度に対塩素性病原微生物対策として最新の紫外線照射処理も行っています。

水質に関しては、水道法で定められている50項目の水質基準検査をはじめとした各種の検査を行うなど、日々の維持管理に努め、万全を期しているところです。

他の主な質問事項①新年度予算の重点項目②地方交付税③中津川リバーリフレッシュ構想見直しの詳細④地域防災計画の見直し⑤消費税率の改正に伴う本町への影響⑥子育て応援推進事業の考え⑦住民参加推進の考え方

みらい絆

熊坂 崇徳 議員

熊坂崇徳議員 子育て世帯に対する支援の取り組みについて

町長 町では、小児医療費助成事業をはじめ、私設保育施設入所児助成事業、児童手当支給事業、高等学校等通学助成事業などにより、子育て世帯の経済的負担の軽減に努めています。

新年度予算では、出産祝い金支給事業の創設のほか、おむつ等支給事業の支給対象を第1子に拡大するなど、子育て世帯に対する支援策の充実に努めるとともに、さらなる待機児童対策を推進するため、長時間預かり保

育を実施する私立幼稚園に対して助成を行う私立幼稚園長時間預かり保育支援事業に係る経費を新たに計上したところで、熊坂崇徳議員 マーケティング室を町長直轄組織とした理由について

町長 マーケティング室は、今後の行政経営の中心的な役割を担う重要な柱です。そこで、私の思いを的確に、かつ迅速に施策として実現し、また、トップセールスとして私自身が町のセールスマンとなり、機動力を持って積極的に活動していくためには、既存の部や課の枠を

超えて横断的に取り組むどの部にも属さない町長直轄組織として位置づけることが最も望ましいと考えたものです。

日本共産党

小林 敬子 議員

小林議員 消費増税による中小零細企業への影響について

町長 公益財団法人神奈川県産業振興センターの影響調査によると、経営に影響が出ると回答した企業は70・7%で、経営難や経営の先行き不安を危惧している傾向にあると認識しています。

町では引き続き、融資制度や利子補給制度による経営面のサポートのほか、各種融資制度の活用情報を提供するなど、企業が本町内で操業しやすい施策の推進に努めていきたいと考えています。

小林議員 勤労者の正規・非正規の雇用状況と生活実態の認識について

町長 昨今の雇用状況は勤労者が正社員を希望し

他の主な質問事項①町営住宅②小田急多摩線延伸③地域医療④消費税率の改正⑤教育環境の充実⑥特別会計増額の捉え方

でも派遣社員やパートといった非正規雇用を余儀なくされるケースも多くなっており、正規、非正規労働者の賃金格差が生じるなど、雇用状況や勤労者の生活実態は、大変厳しい傾向が続いているものと認識しています。

こうしたことから、職を求める町民への生活支援策として、ハローワーク就労相談会をはじめ、勤労者生活資金の融資や雇用奨励金制度の利用促進を図るなど、勤労者の生活支援や雇用促進に取り組んでいるところです。

他の主な質問事項①経済動向②こみの資源化・再資源化等③生活習慣病予防対策④障害者福祉計画改定にあたっての考え⑤国保会計

井出議員 行政改革大綱第6次改訂版策定の視点と方針について

町長 計画策定にあたっては、町長を本部長とする行政改革推進本部会議において、策定の基本となる指針を決定します。

その後、各課等とのヒアリングを行いながら、外部機関である行政改革推進委員会を中心に協議検討を重ねていきます。

策定の視点と方針については、こうした過程の中で決定していききたいと考えています。

井出議員 新年度の医療費軽減の新たな取り組みについて

町長 新年度は3つの新たな事業に取り組んでいきたいと考えています。1点目は、国保データベースを導入し、本町の疾病傾向や個人の健康状況を把握することによって、今後の健康づくり事業や生活習慣病予防対策

公明党

井出 一己 議員

井出議員 行政改革大綱第6次改訂版策定の視点と方針について

町長 計画策定にあたっては、町長を本部長とする行政改革推進本部会議において、策定の基本となる指針を決定します。

その後、各課等とのヒアリングを行いながら、外部機関である行政改革推進委員会を中心に協議検討を重ねていきます。

策定の視点と方針については、こうした過程の中で決定していききたいと考えています。

井出議員 新年度の医療費軽減の新たな取り組みについて

町長 新年度は3つの新たな事業に取り組んでいきたいと考えています。1点目は、国保データベースを導入し、本町の疾病傾向や個人の健康状況を把握することによって、今後の健康づくり事業や生活習慣病予防対策

他の主な質問事項①新年度財政の見通し②防災対策③総合計画後期基本計画④県支出金増の内容⑤いじめ防止対策事業⑥私立幼稚園長時間預かり保育支援事業⑦小中学校情報教育推進事業

2点目は、医療費の約3割を占める薬剤費の抑制につながるため、ジェネリック医薬品の普及促進に努めていきます。

3点目は、保健師による専門的な指導も交えた電話での受診勧奨を実施し、特定健康診査の受診率向上を図っていききたいと考えています。

他の主な質問事項①新年度財政の見通し②防災対策③総合計画後期基本計画④県支出金増の内容⑤いじめ防止対策事業⑥私立幼稚園長時間預かり保育支援事業⑦小中学校情報教育推進事業



子育て支援センターで遊ぶ親子



討

論

最終日の27日には、5党派及び玉利議員（無所属）による討論が行われましたので、一部を紹介します。

賛成

（愛政クラブ） 小倉英嗣 議員

愛政クラブを代表し、要望を交えながら賛成の立場で討論いたします。

総務費では、マーケテ

ィング室を設置して愛川ブランドの確立に向けた取り組みの推進に期待しますが、販売拠点がないと実現は難しいと思います。そこで1日も早い道の駅建設に向けての取り組みを強く要請します。

民生費、子育て支援対策事業費では、誕生した全てのお子さんに対する3万円支給事業やおむつ等支給第1子からの対象拡大、さらに私立幼稚園長時間預かり保育支援事業は、少子化に歯止めがかかることを期待します。衛生費、環境基本計画推進事業費、住宅用太陽光発電の助成では、1基当たり5万2千円と、24年度の半額になっていきます。25年度から県の助成が廃止されたことですが、単独事業当初の10

万円助成を検討していた、大きく強く要請します。

農林水産業費、有害鳥獣対策事業費では、簡易電気柵設置要綱が緩和され、耕作面積が5アールから2アールに、限度額も2倍の10万円に、さらに補助率は2分の1から3分の2に拡大され、また、新たに複数の農家が設置する場合には、上限20万円の4分の3が補助されることは高く評価します。今後は周知に力を入れていただきたいと思っています。

林業振興事業費では、温暖化が加速しているこ

とから、今後、ゲリラ的豪雨の雨量も頻度も高くなる予想されるので、水源環境税を大いに活用して、整備が促進されるよう強く要請します。



簡易電気柵（三増地内）

賛成

（あいかわクラブ） 渡辺基 議員

あいかわクラブを代表して賛成の立場から討論いたします。

総務費、職員研修経費では、民間の視点と住民の目線に立った物事の考え方や事務事業の進め方に関するスキルを習得するため、新規事業として行政経営セミナーを開催するとともに、町長と若手職員とのランチミーティングを実施し、若手職員の意識改革を促進することについて高く評価します。最大の目標である町民福祉向上のために、優秀な人材を育てることを要望します。

民生費、子ども子育て支援事業費では、平成27

校のエアコン設置に向けては、地球温暖化防止を重視する観点から、スカイツリーや羽田空港ターミナルビルでも採用している地中熱ヒートポンプ方式の採用に向けた取り組みを強く要請します。

年度からスタートする子ども・子育て支援事業の計画書が作成されますが、保育園や放課後児童クラブの待機児童解消につながる有効な計画となるよう要望します。

衛生費、医療機関整備資金利子補給金です。愛



地域医療の中核となる愛川北部病院

川北部病院の経営状況の診断委託については、専門家にしっかり診断していただき、利子補給金の適正数値を出し、地域医療対策懇話会での十分な議論をお願いいたします。

土木費、中津川リバーリフレッシュ構想の見直し業務委託については、

神奈川県で策定を進めている河川整備計画に本町の構想を位置づけていく必要があることから、構想の見直しを行うものですが、構想における各種計画の円滑な実施が図られるよう神奈川県に強く要請をお願いします。

賛成

(みらい絆) 小島総一郎 議員

みらい絆を代表して討論を行います。

必要な場所で發揮していただきたいと思ひます。

職員定数条例の改正では、全体で29人も削減されましたが、職員定数が削減されても仕事が少なくなるわけではありませ

浮いた1名については、議会事務局の職員を削減せず、補充していただきたいと思ひます。

ん。事務の効率化や省力化、さまざまな工夫によって現場は削減に取り組んでいるわけです。

不法投棄防止カメラの設置事業は、新年度予算の中では、数少ない補助金の有効活用事例で、取り組みは高く評価します。

その中で3人の職員をマーケティング室に配置することについて、最初は2人体制で十分だと思ひます。町長自らトップ

また、商業振興の取り組みとして、愛川にぎわいマルシェ、七夕ビックセル等への支援についても評価するものです。

セルスをされるということですから、ぜひリーダーシップをそのような

行政運営から行政経営に変えるとの意気込みを今後も忘れずに行財政改



不法投棄防止カメラ (八菅山地内)

賛成

(日本共産党) 小林敬子 議員

革に取り組んでいただき、誰もがこの町に住んでよかったと実感できるまち

づくりに、職員とともに取り組んでいただきたいと思ひます。

日本共産党愛川町議員団を代表し、若干の要望を交え討論を行います。

健康づくりの拠点である健康プラザ

ては、仕事や通学、買い物や病院など、町民の移動手段は車やバスしかなく、道路整備の計画的な



健康づくりの拠点である健康プラザ

実施は町民の切実な願いです。救急車や消防車が通れない狭隘道路の解消に努力をお願いします。

と強く要請します。消防関係では、従前より提案していた消防団OBの活用について、愛川

防災対策については、地震、風水害、犯罪などから町民の生命、財産を守るために、町長部局に

町消防団支援隊の創設は高く評価します。引き続き消防団員と家族を支援するサポート制度の早期導入を要請します。

危機管理課の早期設置を強く要請します。また、かねてから要請していた災害時緊急避難場所の耐震診断の実施を評価します。耐震性が弱い本庁舎の建て替えに向け、庁舎構想づくり検討委員会を早期に設置し、

健康でゆとりとふれあいのまちづくりでは、健康プラザを拠点とし、各種保健、健診、予防接種事業の展開を評価するとともに、今後とも受診率の向上に努めていただきたいと思ひます。

賛成

(公明党) 佐藤りえ 議員

公明党を代表し、賛成の立場で討論を行います。

と思ひます。

愛川町行政改革大綱第6次改訂版の策定については、時代の要請に

得る質の高い行政サービスができるよう策定に努力をお願いしたいと思ひます。

評価で削減に取り組み、努力がうかがえます。町債発行の抑制については、道路事業などの適

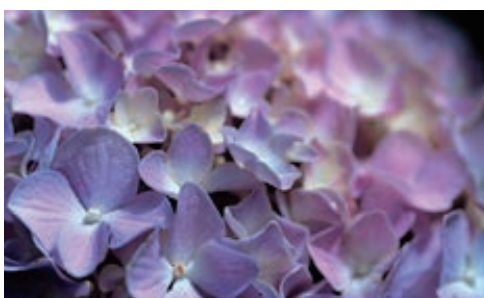
新年度は、厳しい財政環境ですが、暮らし満足度の向上のためにも、より一層の行財政改革に取り組み、活力ある町、魅力あふれる町を目指し、町内外へ発信されることを期待します。

債税の増収に伴う臨時財政対策債発行可能額の減などにより、借入額を抑制することができました。

は、近年の町税収入の減などから毎年の積み立てがままならず、残高は減少傾向が続いていました

が、現段階での残高が約6億1千700万円まで回復する見込みとなったことは、厳しい環境の中での努力が見られます。

今後、今後も極力、元金償還額以内での借入れを基本とし、残高が増大し過ぎることのないよう財政の健全性を確保しつつ運営に努めていただきたい



町議会公式ツイッター

町議会では、公式ツイッターを運用しています。議会からの様々なお知らせをツイートします。是非フォロー登録をお願いします。ツイートの閲覧・フォロー登録はこちらから。
<http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/assembly/index.html>



また、スマートフォンや携帯電話からもご覧いただけますので、左記QRコードをご利用ください。

議会運営委員会	
(委員定数8人◎委員長○副委員長)	
◎小倉 英嗣	○鈴木 一之
熊坂 弘久	篠崎 直紀
小島 総一郎	木下 眞樹子
小林 敬子	井出 一己

渡辺基議員が平成26年4月1日付けで会派「あいかわクラブ」を離脱したため、会派構成及び議会運営委員会の委員構成に変更がありました。

会派構成 (◎は代表者)			
愛政クラブ	◎熊坂弘久 佐藤 茂	鳥羽 清	小倉英嗣
あいかわクラブ	◎篠崎直紀	鈴木一之	馬場 司
みらい絆	◎木下眞樹子	小島総一郎	熊坂崇徳
日本共産党 愛川町議員団	◎小林敬子	井上博明	
公明党	◎井出一己	佐藤りえ	

※「渡辺基議員」、「玉利優議員」は会派に所属していません。

議会だより 表紙写真を募集

愛川町議会では、「あいかわ議会だより」の表紙写真を募集しています。

町内の風景・風物など季節の写真、子どもが遊ぶ姿や元気な赤ちゃんの写真など、あなたの写真で表紙を飾りませんか。

■応募資格 町内在住または在勤の方
 ■作品規格 撮影者自身に著作権のある未発表のオリジナル作品で、縦・横どちらでも結構です。

データの場合は、500万画素以上でjpeg形式・プリントの場合は、2Lサイズ以上

■応募方法 撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所、撮影年月日、作品の名前、その説明を添えて、データの場合は電子メールで、プリント写真の場合は郵送でお送りください。(随時受付)

【電子メールアドレス】
gikai@town.aikawakanagawa.jp

【郵便送付先住所】
 〒243-0392
 愛川町角田251-1

愛川町役場議会事務局宛

■注意事項

・人物が特定できる場合は、本人の承諾を得てください。

・応募作品は原則として返却しません。

・編集上、写真をトリミングする場合があります。

・採用された写真の著作権は、町に帰属します。

・採用された写真は、応募者の氏名を表紙に掲載します。掲載を希望しない場合は応募の際に「氏名の掲載は辞退します」などと明記してください。

・採用者への謝礼はありません。

ライブ・録画中継

町議会では、町民参加を基本とする開かれた議会を実現するため、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画中継を行っています。

視聴にあたっては、「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。

なお、録画中継の視聴可能期間は、ライブ中継終了後、概ね3日後から約3年間となります。

【ホームページアドレス】
<http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/assembly/index.html>



議員研修会



○愛甲郡町村議会議員研修会
 平成26年2月21日(金)
 に愛川町役場会議室において、郡町村議会議員研修会を次のとおり開催しました。

講師

公益社団法人地方自治総合研究所長 辻山 幸宣 氏

テーマ

「道州制と地方自治」

内容

・府県を超える広域政府構想の変遷
 ・道州制のねらい
 ・道州制の課題 など

町民の声

「読書のまちづくりを」



竹内 甯子さん
(半原在住)

町では、ブックスタート事業に取り組んでいます。生後4ヶ月健診時に選書された絵本を贈り、心の育ちや本の楽しさを伝えるきっかけづくりとしてすばらしいことだと思います。

赤ちゃんが絵本？いえいえ、胎教の大切さが周知されているように、生後1歳までの間に話しかけることが脳を急速に成長させ、自分に向けられた

声を聞くことで、脳の感情を育てる部分の血流を良くし、活発化させることが分かってきました。親は誰でも子どもの幸せを願っています。赤ちゃんをあやす方法のひとつとして、家庭で読み聞かせを始め、小学生になっても親子で、絵本を通して一緒に感じる喜びを体験し続けてほしいと思います。

「本は心の栄養」と言われ、心を豊かに育てます。活字離れが叫ばれる今、町には人口に見合った広さの図書館が無いのが大変残念です。しかし、図書館構想策定委員会の設置を知り、老若男女が身近に良書と触れ合える図書館づくりが実現されることを切に願います。

次回定例会

次回、6月定例会は下表のとおりです。会議はいつでも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、5月23日(金)に開催予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。町ホームページでもご覧になれます。

平成26年 第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名
6	2	月	本会議 (提出議案の説明)
	4	水	本会議 (一般質問)
	5	木	本会議 (一般質問)
	9	月	総務建設常任委員会
	10	火	教育民生常任委員会
	13	金	本会議 (総括質疑、討論、採決)
	16	月	(予備日)

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、3月定例会の会議録は、6月中には備え付けができる予定です。また、町議会のホームページで平成11年以降の会議録がご覧になれます。

施設設置録

- 役場町政情報コーナー
- 半原出張所
- 中津出張所
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

議会だよりは、録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により視覚障害者用に音声テープ化されています。

ご希望の方は、社会福祉協議会にご連絡ください。(内線3792)

議会事務局職員人事異動

- 4月1日付
- (新) 議会事務局長 内藤 和男 (高齢介護課長)
- (新) 議会事務局主任主事 青木 洋子 (会計課主任主事)
- (旧) 税務課副主幹 関根 祐子 (議会事務局主査)
- 3月31日付
- 定年退職 古座野 義夫 (議会事務局長)

編集後記

今年最初の3月定例会は、新年度予算を審議する議会でもあり、各議員それぞれに忙しい毎日でした。

また、年度末は退職や異動の時期でもあり、町の将来に様々な思いを馳せる場面もあり、しっかりと考えなければならぬと強く感じた定例会でした。

今後も町議会へ様々なご意見をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。

- 議会だより編集委員会
- 委員長 佐藤 茂
 - 副委員長 熊坂 崇徳
 - 委員 篠崎 直紀
 - 委員 佐藤 りえ
 - 委員 玉利 優
 - 委員 渡辺 基
 - 委員 小倉 英嗣
 - 委員 井上 博明